

令和元年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

大和市 環境管理センター
収集業務課 資源循環係

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	2
1. 補助制度について	2
1). 補助制度の周知等について	
2). 補助率・補助金額について	
2. 機器について	3
1). 機器の購入と補助制度について	
2). 機器を利用している世帯数と年齢層について	
3). 機器の利用頻度について	
III. アンケート結果分析	4
1. 機器の利用と減容率の関係	4
2. 機器の利用と機種タイプの関係	4
3. 置き場所と臭いや音の関係	5
IV. 各設問ごと結果	6
V. 自由記入欄一覧	11
1. 補助制度について	11
2. 機器の使用について	12

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

- ・ 調査期間 令和元年 12 月 1 日～12 月 20 日
- ・ 調査対象者 平成 26 年度の電動式生ごみ処理機購入補助利用者(103 人)
(転出等によりアンケートが不着となった件数を除く)
- ・ 調査方法 郵送調査、無記名方式
- ・ 調査内容 使用者について(世帯人数、主な利用者の年代)
使用機種について(処理方式、購入動機、購入先)
使用状況について(利用頻度、生ごみ処理量、減量効果)
生成物について(生成物の活用方法、拠点回収場所の利用)
制度について(周知方法、補助率・限度額等への満足度や意見)
- ・ 回答者数 47 人
- ・ 回答率 45%

II. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「IV. 各設問の結果」及び「V. 自由記入欄一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

1). 補助制度の周知等について

補助制度を知った方法については、「広報やまと」が一番多く28人でした。その他の市の媒体では、「市ホームページ」が9人、「資源とごみのパンフレット(市配布)」が6人という結果でした。

一方で、「販売店等の宣伝」が6人、「口コミ」が5人、と市の周知以外で補助制度を知ったという方も多くみられました。

2). 補助率・補助金額について

補助率の満足度について、「満足」「ふつう」ではなく、「その他」と回答した方は46人中2人、補助金額の満足度について、「満足」「ふつう」ではなく、「その他」と回答した方は44人中5人でした。「満足」は補助率が65%、補助金額が55%でした。

お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか」という質問に対し、一番多かった回答は「現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う」の49%でした。

本市の電動式生ごみ処理機の補助「補助率75%、補助上限金額50,000円」は、綾瀬市の90%に次いで県内2位、補助金額も大磯町の60,000円に次いで県内2位となっています。(JEMA調べ)

※JEMA(日本電機工業会)では家電製品について様々な情報を公表しており、家庭用電気生ごみ処理機の助成金についても調査結果が公表されています。

補助金額(上限)		補助率(上限)	
大磯町	60,000	綾瀬市	90%
綾瀬市、海老名市、座間市、大和市	50,000	海老名市、鎌倉市、座間市、大磯町、藤沢市、二宮町、大和市	75%
鎌倉市、秦野市	40,000	逗子市、葉山町	66.7%
藤沢市	35,000	愛川町、伊勢原市、横須賀市、寒川町、松田町、逗子市、清川村、相模原市、箱根町、平塚市、葉山町	50%
茅ヶ崎市	25,000	横浜市、開成町、茅ヶ崎市、寒川町、山北町、松田町、真鶴町、秦野市、清川村、川崎市、相模原市、湯河原町、箱根町、平塚市	
開成町、山北町、真鶴町、川崎市、湯河原町、二宮町	20,000		
横浜市	10,000		

2. 機器について

1). 機器の購入と補助制度について

電動式生ごみ処理機を購入した動機(複数回答)について「補助制度があるため」を挙げた方は29人で、「ごみを減量化したい」を挙げた45人に次いで多くいました。

また、制度に関して、自由記入欄にて、

ごみ量が半分程度になるし、植木の肥料にも活用しているので、大変役立つ機器である。そのうえ、補助金制度を活用して購入できるので、もっと多くの人に使ってもらえるように広報すべきである。

補助制度は続けてほしいです。高齢にともないごみ出しが大変になりつつあります。今までは子どもが出してくれてたが、自分で出すとなると重いと大変です。

といった声をいただいています。

2). 機器を利用している世帯数と年齢層について

機器を利用している世帯数は「2人」が34%で最も多く、続いて「4人」が28%、「3人」が23%となっており、2～4人世帯が全体の約85%を占めました。

主に使用している年齢層は「60代」「70代」がともに23%と最も多く、続いて「40代」「50代」が19%という結果でした。

また、機器に関して、自由記入欄にて、

とても便利。ごみ出しが週1でもOKになります。無い生活はもう考えられないです。

生ごみのごみ袋を占める量が多く機器を使用することで、いやな臭いやごみ袋の節約等ができ、タイマーで夜間に動かしているので、今後も使用していきたい。

といった声をいただいています。

3). 機器の利用頻度について

機器の利用状況は、「毎日」「週に1、2回」と回答した方が全体の83%を占めました。

減容量については、「約1/2」が34%で最も多く、「約1/4」が32%でした。

また、今回初めての質問で置き場所については、「キッチン」が72%でした。利用しやすい場所に置かれるようです。

Ⅲ. アンケート結果分析

ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」の順に多く、その方々の減容率は「約1/2」「約1/3」の順に多いという回答が多くありました。

		減容率				
		約 1/2	約 1/3	約 1/4	その他	計
利用頻度	毎日利用している	29%	18%	16%	0%	63%
	週に1、2回	8%	3%	18%	0%	29%
	月に1、2回	3%	0%	3%	0%	5%
	年に数回	0%	0%	0%	0%	0%
	使っていない	0%	0%	3%	0%	3%
	故障して使えない	0%	0%	0%	0%	0%
	その他	0%	0%	0%	0%	0%
	計	39%	21%	39%	0%	100%

2. 機器の利用と機種タイプの関係

機種タイプごとに、利用頻度との相関を見てみました。

基本的に、どの機種も「毎日」「週1、2回」という回答が多くありました。

	毎日	週に 1、2回	月に 1、2回	年に 数回	使って いない	故障し て使え ない	その他	タイプ別 割合
	現在も使っている				現在も使っていない			
乾燥式	54%	34%	3%	3%	6%	0%	0%	85%
	94%				6%			
バイオ式	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%
	100%				0%			
ハイブリッド式	60%	20%	20%	0%	0%	0%	0%	12%
	100%				0%			

3. 置き場所と臭いや音の関係

置き場所と臭いや音との相関を見ました。

キッチンに置いているが、気にならないという回答が多くありました。

置き場所		キッチン	キッチン以外の室内	ベランダや勝手口等の屋外
臭いや音	臭い			
	ほとんど(まったく)臭わない	11%	2%	7%
	多少臭うが気にならない	30%	0%	9%
	多少臭いが気になる	26%	2%	9%
	かなり臭いが気になる	4%	0%	0%
音	ほとんど(まったく)音がしない	2%	0%	4%
	多少音がするが気にならない	54%	2%	15%
	多少音がして気になる	13%	2%	4%
	かなり音が気になる	2%	0%	0%

※参考 電動式生ごみ処理機の3つのタイプについて(参照: J E M A [日本電機工業会])

	乾燥式	バイオ式	ハイブリッド式
原理	生ごみの水分を飛ばすことで減容化する。	基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。	微生物が活動しやすい環境を整えた上で、基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。
減容能力	約1/7	約1/10	約1/10
長所	<ul style="list-style-type: none"> 本体が比較的コンパクトな形にできる 手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> 減容化能力が高い 堆肥が生成できる 	<ul style="list-style-type: none"> 減容化能力が高い 堆肥が生成できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> 電気代がかかる 堆肥は生成できない 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の環境を整えるのが難しい 基材の代金がかかる 水分量調節のための木材チップ等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の環境を整えるのが難しい 基材の代金がかかる
主な構造	 <p>ヒーター かくはん羽根</p>	 <p>かくはん羽根 基材 (バイオチップ) ヒーター</p>	 <p>かくはん羽根 基材 (バイオチップ) ヒーター</p>

IV. 各設問の結果

ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度」を「補助制度」、「電動式生ごみ処理機」を「機器」と略しています。「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきました。また「無回答」や「複数回答」により、回答合計は一致しません。

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

回答

販売店等の宣伝	6
口コミ	5
公共施設設置チラシ	2
資源とごみのパンフレット（市配布）	6
市ホームページ	9
広報やまと	28

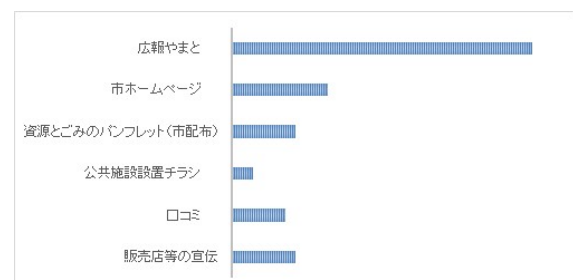
その他)

市役所内ポスター

インターネット

親から聞いた、友人から

以前住んでいたところにもあったから



問2. 電動式生ごみ処理機（以下「機器」と言います）を購入した動機は、どのような理由からですか

回答

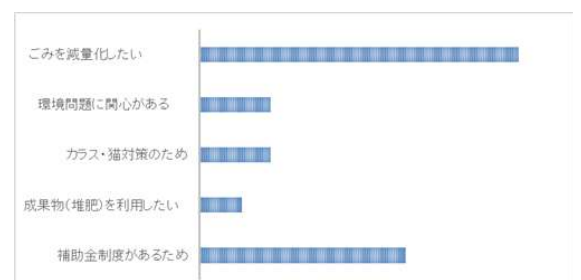
補助金制度があるため	29
成果物（堆肥）を利用したい	6
カラス・猫対策のため	10
環境問題に関心がある	10
ごみを減量化したい	45

その他)

臭いが気になるのでその日のうちに処理したい

生ごみの異臭を軽減したい

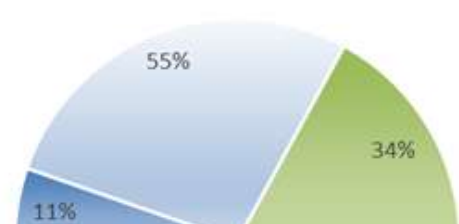
夏のごみが臭うのがとてもイヤなので



問3. 補助制度が無くても機器を購入しましたか

回答

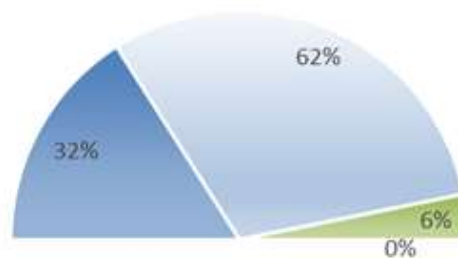
購入していた	5
購入していない	26
わからない	16



問4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の意識は高まりましたか

回答

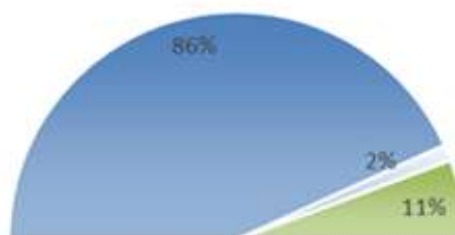
非常に高まった	15
高まった	29
変わらない	3
低くなった	0



問5. 購入された機器はどのタイプですか

回答

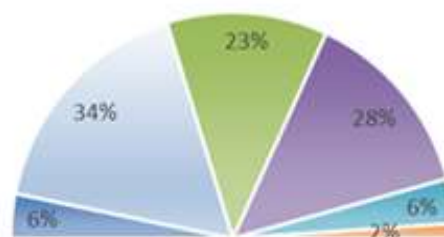
乾燥式	38
バイオ式	1
ハイブリッド式(送風乾燥+バイオ処理)	5



問6. 機器を利用している世帯人数を教えてください。

回答

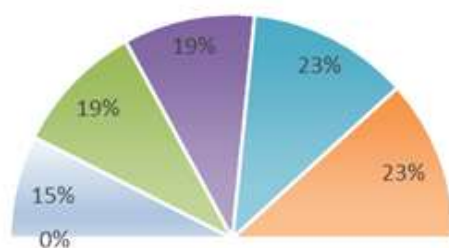
1人	3
2人	16
3人	11
4人	13
5人	3
6人以上	1



問7. 機器を主に利用されている方の年齢層を教えてください。

回答

20代以下	0
30代	7
40代	9
50代	9
60代	11
70代以上	11



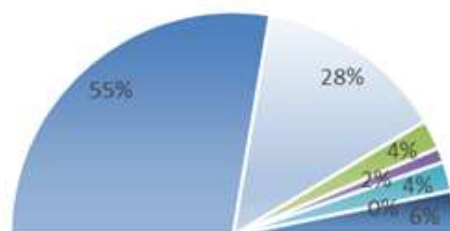
問8. 機器の利用頻度はどのくらいですか

回答

毎日利用している	26
週に1、2回	13
月に1、2回	2
年に数回	1
使っていない	2
故障して使えない	0
その他	3

その他)

週に3,4,5回、週3-4回、週に4回



問9. 機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

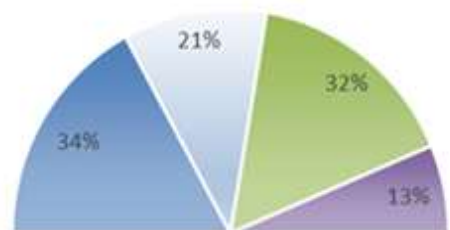
回答

約1/2	16
約1/3	10
約1/4	15
その他	6

その他)

使っていた時は1/2

ほとんどゼロ



問10. 機器を1週間利用した場合の、有料指定ごみ袋の使用前後の状況を教えてください

回答

使用前	使用后	回数
5ℓ1袋	5ℓ1袋	1
10ℓ1袋	5ℓ1袋	9
10ℓ1.5袋	10ℓ1袋	1
10ℓ2袋	5ℓ2袋	1
	10ℓ1袋	1
20ℓ1袋	5ℓ1袋	2
	10ℓ1袋	3
20ℓ1袋 10ℓ1袋	5ℓ1袋 10ℓ1袋	1
20ℓ2袋	20ℓ1袋	1
	10ℓ1袋 5ℓ1袋	1
	10ℓ2袋	1
	20ℓ1袋	1

回答

使用前	使用后	回数
20ℓ4袋	20ℓ2袋	1
30ℓ1袋	5ℓ1袋	1
	20ℓ1袋	3
	10ℓ1袋	3
40ℓ1袋	20ℓ1袋	2
	20ℓ1袋	1
	20ℓ1袋 (30ℓ1袋が1.5週間)	
	30ℓ1袋	3
40ℓ1袋 20ℓ1袋	10ℓ1袋	1
40ℓ2袋	10ℓ1袋 20ℓ1袋	1
	40ℓ1袋	1

問1 1. 機器から出る臭いはどうですか

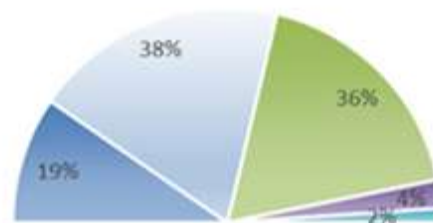
回答

ほとんど（まったく）臭わない	9
多少臭うが気にならない	18
多少臭いが気になる	17
かなり臭いが気になる	2
その他	1

その他)

ベランダに置いているので、夏は戸を空けている

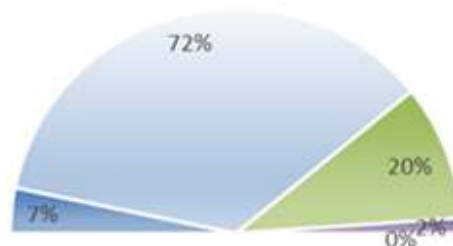
ので気になり(音、臭い)、冬はほとんどしめている為それ程気にはなりません。



問1 2. 機器から出る音はどうですか

回答

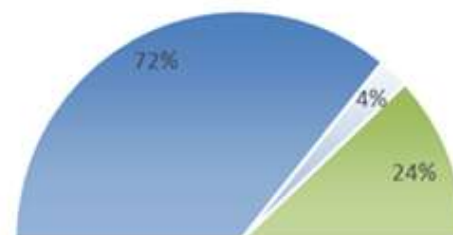
ほとんど（まったく）音がしない	3
多少音がするが気にならない	33
多少音がして気になる	9
かなり音が気になる	1
その他	0



問1 3. 機器はどこに置いて利用していますか

回答

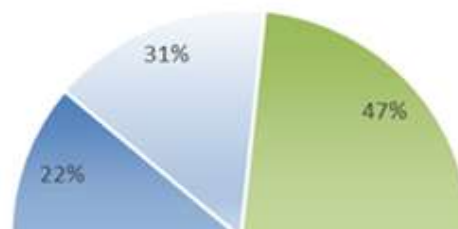
キッチン	33
キッチン以外の室内	2
ベランダや勝手口等の屋外	11



問1 4. 生成物（堆肥・乾燥物）を資源の拠点回収場所に出せることを知っていますか

回答

利用している	10
知っているが利用していない	14
知らない（この設問で知った）	21

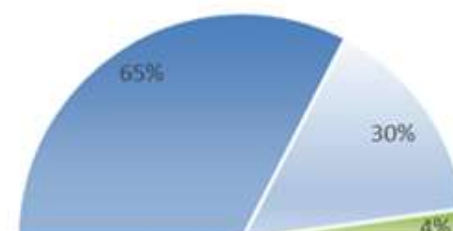


問1 5. 機器の補助率（75%）についてどう思いましたか

回答

満足	30
ふつう	14
その他	2

その他)



90%、100%

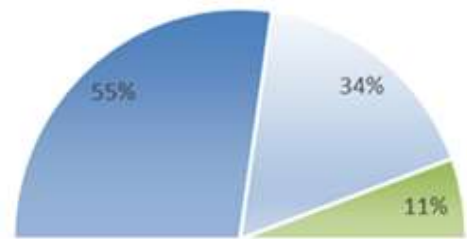
問16. 機器の補助金交付額（上限50,000円）についてどう思いましたか

回答

満足	24
ふつう	15
その他	5

その他)

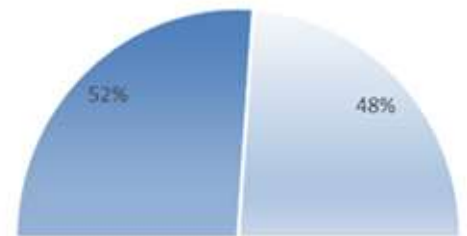
55000円、60000円、70000円、全額
5万円で購入出来る機器は無いので



問17. 補助制度は、制度利用後5年を経過すると再度利用できる（機器を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）ことを知っていますか

回答

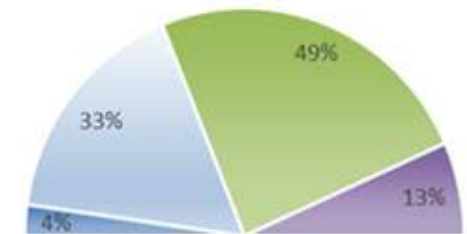
知っている	24
知らない（この設問で知った）	22



問18. お手持ちの機器の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか

回答

購入すると思う	2
補助金が出るのなら購入する	15
補助金額(率)が下がったら購入しない	22
購入しないと思う	6



V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、以下の編集を行いました。

- ・誤字等は修正しました。
- ・機種名等の固有名詞が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。

1. 補助制度について

- ・今回制度利用 2 回目です。1 台目は 7 年程で故障しました。臭いも出ず、ごみも減って大変助かっています。機械の機能も上がっており、これからも制度が続くことを願います。
- ・私達はこの制度について存じて居りましたが、知らない方も多いと思いますので、広報がさらに必要ではないでしょうか。ごみ置き場周りに、カラスやネコの散らかしたごみが散乱しているのを良く見かけますが良くありません。
- ・大変良いと思いますが、生ごみにお金を払うのか?という気持ちの人がまだまだ多いと思います。生活感の高い地域ならばもう少し使う人が多くなると思いますが、大和市はなかなか難しいと思います。
- ・電動式生ごみ処理機は値段が高いため補助金が下がれば買えないが、生ごみの量も減りカラス対策にとっても有効である。野菜のみ(生魚なども)だったら堆肥としても利用しようと思うが、塩分などが入ってくるので主に有料ごみで出していました。エコには関心があるが、中途半端なりサイクル意識しかないので、町全体でごみ問題に強い意識で取り込みたくなる制度があればと感じます。
- ・ごみ量が半分程度になるし、植木の肥料にも活用しているので、大変役立つ機器である。そのうえ、補助金制度を活用して購入できるので、もっと多くの人に使ってもらえるように広報すべきである。
- ・購入した当初は 4 人家族で夏に生ごみが臭うので(集合住宅の為外へごみ箱が出せず)助かりました。子どもの成長で各自クーラーを使うようになるとワット数の上限の関係で夜は機器が使えなくなり、使用回数が減りました。今は子どもも独立し、夫婦 2 人でごみも減り、夏に魚やスイカを食べた時少し使うくらいというのが現状です。補助制度を頂いて購入しましたがこのように宝の持ちぐさで申し訳なく思います。状況により、使わなくなった機器の回収制度があればありがたく、ご検討頂ければ幸いです。
- ・ごみ処理機は 4 年位でこわれた。補助があればすぐに買いたい。
- ・生ごみ処理機を補助制度を使用して買い求めたが今では有難く使用している。
- ・電気料金もかかるので補助金もアップしていただけたらと思います。
- ・補助金制度の継続をよろしくお願い致します
- ・大変ありがたいです。生ごみが減ってカラス等の被害もほぼなくなりました。
- ・大変よいと思います。
- ・補助制度はつづけてほしいです。高齢にともないごみ出しが大変になりつつあります。今までは子どもが出してくれてたが、自分で出すとなると重いと大変です。
- ・戸建てに住んでいるので、衛生上もっと広まって欲しいので、補助金を 100%にすることで更に広まると思う。補助金 100%になれば製造メーカーの参入が増え、競争原理が働き更によいものが発売されるのでは? 処理機の種類が数少ないので、希望としては大容量・省スペース化したものが欲しい。軽量化できれば高齢者も使いやすいと思う。

2. 機器の使用について

- ・1人暮らしの時から生ごみの臭いや発生するカビに悩んでいたが、毎日ビニール袋に入れるか密閉できるごみ箱に入れるしかなかった。大和市へ転入する際に市役所内で補助金のポスターを見て、すぐに購入し補助申請を行った。それから5年間ほぼ毎日使っているが、処理機のお陰で臭いもカビも気にならないし、ごみの量も格段に減って良いことしかない。知らない人が多くて驚いている。
- ・とても便利。ごみ出しが週1でもOKになります。無い生活はもう考えられないです。
- ・ごみの減量や臭い(特に夏場)が気になり購入しました。以前住んでいた横浜は、ごみが無料だったこともあり、マンションでは365日ごみが出せ、機械に入れる制度でした。なのでごみの量や臭いを気にしたことがなかったのですが、大和市に引っ越してからやけに気になり購入。しかし処理中のごみが臭すぎ、また大容量を買ってしまったために、キッチンで幅を取ってしまい使用を中止してしまいました。ツワリの時期にあの臭いは地獄で、出産後も機械を見ると思い出してしまうほど。寝てる時にやってみようと、換気扇「強」で回してやってみたが、次は「ウィ〜ンウィ〜ン」と音がうるさい。因みにベランダにはコンセントがなくて出来ませんでした。最近また気になり調べたところコンパクトでキッチンカウンターに設置でき、臭いも気にならず静かで赤ちゃんがいても安心して使えるというのを知ってどんなものかなと思っています。
- ・生ごみのごみ袋を占める量が多く機器を使用することで、いやな臭いやごみ袋の節約等ができ、タイマーで夜間に動かしているのも、今後も使用していきたい。
- ・OEMで大和市民用に安く製造してもらえるメーカーと提携できないでしょうか
- ・電動式は熱量が発生するので、余計な電力となると思います。エコではないかと…。
- ・別件だが機器を購入してからバイオ材など購入が高いので、機器メーカーに安くする様指導してくだされれば幸いです。尚もっと購入する人が多くなると思います(消耗品が高い)。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート（26年度購入）

※ 該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

- ①. 広報やまと②. 市ホームページ③. 資源とごみのパンフレット（市配布）
- ④. 公共施設設置チラシ⑤. ロコミ⑥. 販売店等の宣伝
- ⑦. その他（ ）

問2. 電動式生ごみ処理機（以下「機器」と言います）を購入した動機は、どのような理由からですか（複数回答可）

- ①. ごみを減量化したい ②. 環境問題に関心がある③. カラス・猫対策のため
- ④. 成果物（堆肥）を利用したい ⑤. 補助金制度があるため
- ⑥. その他（ ）

問3. 補助制度が無くても機器を購入しましたか

- ①. 購入していた②. 購入していない③. わからない

問4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の意識は高まりましたか

- ①. 非常に高まった②. 高まった③. 変わらない④. 低くなった

問5. 購入された機器はどのタイプですか

- ①. 乾燥式②. バイオ式③. ハイブリッド式（送風乾燥＋バイオ処理）

問6. 機器を利用している世帯人数を教えてください。

- ①. 1人②. 2人③. 3人④. 4人⑤. 5人⑥. 6人以上

問7. 機器を主に利用されている方の年齢層を教えてください。

- ①. 20代以下 ②. 30代 ③. 40代 ④. 50代 ⑤. 60代 ⑥. 70代以上

問8. 機器の利用頻度はどのくらいですか

- ①. 毎日利用している ②. 週に1、2回 ③. 月に1、2回④. 年に数回
- ⑤. 使っていない ⑥. 故障して使えない ⑦. その他（ ）

問9. 機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

- ①. 約1/2②. 約1/3③. 約1/4④. その他（ ）

問10. 機器を1週間利用した場合の、有料指定ごみ袋の使用前後の状況を教えてください

（記入例 使用前400袋1袋→ 使用后300袋1袋と50袋1枚）
（使用前→ 使用后）

問 1 1. 機器から出る臭いはどうですか

- ①. ほとんど（まったく）臭わない ②. 多少臭うが気にならない
- ③. 多少臭いが気になる ④. かなり臭いが気になる
- ⑤. その他（ ）

問 1 2. 機器から出る音はどうですか

- ①. ほとんど（まったく）音がしない ②. 多少音がするが気にならない
- ③. 多少音がして気になる ④. かなり音が気になる
- ⑤. その他（ ）

問 1 3. 機器はどこに置いて利用していますか

- ①. キッチン ②. キッチン以外の室内 ③. ベランダや勝手口等の屋外

問 1 4. 生成物（堆肥・乾燥物）を資源の拠点回収場所に出せることを知っていますか

- ①. 利用している ②. 知っているが利用していない ③. 知らない（この設問で知った）

問 1 5. 機器の補助率（75%）についてどう思いましたか

- ①. 満足 ②. ふつう ③. その他（ %が妥当）

問 1 6. 機器の補助金交付額（上限50,000円）についてどう思いましたか

- ①. 満足 ②. ふつう ③. その他（ 円程度が妥当）

問 1 7. 補助制度は、制度利用後5年を経過すると再度利用できる（機器を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）ことを知っていますか

- ①. 知っている ②. 知らない（この設問で知った）

問 1 8. お手持ちの機器の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか

- ①. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
- ②. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
- ③. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
- ④. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
- ⑤. その他（ ）

自由記入欄

電動式生ごみ処理機の補助制度について、ご意見や感想などがあればご記入ください

ご協力ありがとうございました

令和元年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

発行 大和市

令和2年2月

編集 大和市環境管理センター 収集業務課

〒242-0026 大和市草柳3-12-1

電話 046-269-7343